

へ出ることをいうたが、之に倣つて農吏等が金澤に出る場合にも出府の語を用ひることがあつた。

シユドウ 衆道 前田綱紀の初世に當つては衆道が盛に行はれた。正保四年御坊主鷹巢松雲は兒小姓澤田五郎八に執心し、河田市十郎を介して意を通せしめたが、五郎八が之に應じなかつたので、却つて市十郎と五郎八の密通した虚説を流布した。市十郎乃ち怒つて六月十一日自ら刎腹して半死の状となり、人のその理由を質すに及び、實情を候に具申せんことを請うたので、利常は長谷川庄大夫に命じ、松雲の居所に赴いて之を殺さしめた。

明暦元年御異風の土中島九郎兵衛は、木村甚左衛門の子息に對する衆道のことにより、近藤傳吉と鬭争して即死し、傳吉は負傷したのみであつたが、後能登島に謫せられた。延寶三年正月小將組の土宮井武兵衛及び弟基助が、馬廻菊菊田長右衛門の子息忠右衛門の弟に對する衆道によつて、忠右衛門と相搏ち、その結果忠右衛門は即死し、武兵衛は家に歸つた後命を殞し、基助は自及した。幾くもなく山田又太郎の子息六郎兵衛は、この鬭争が己に原因したのであつたから、事實を藩吏に告げて屠腹した。又延寶五年馬廻組領千石柴田柄漏助の子息孫丞は、本多安房守の臣蜂岡覺丞と衆道の事に關して銀屋長右衛門を殺害したから、柄漏助は織田小八郎の家に預けられて、四月七日自及を命ぜられ、孫丞は奥野右兵衛に御預となつて、同日刎首に處せられ、覺丞も亦本多氏の臣小笠原次郎右衛門の邸に囚はれて切腹せしめられた。是等に因つて、その表面に現れなかつた事實の頗る多かつたこと

が思はれる。

シユトウシヨ 種痘所 加賀藩に於いては、慶應元年種痘所を開き、黒川良安を主任とした。この種痘所は、壯猶館の附屬であり、後柳辰山養生所の起るに及んで、明治元年それに合流したものである。

ジュトクジ 學得寺 諸家分派系圖に河北郡大田に在るとし、大谷一流系圖に越前荒川興行寺玄眞の子で河北郡二俣に居た兼慶の子兼泰を開祖とし、その子榮玄之に繼いだとするが、この寺今は存せぬ。

ジュネンジ 受念寺 鹿島郡二宮に在つて、眞宗西派に屬する。

シユヒツ 執筆 年寄中席の書記をいふ。年寄中席以外の各役所の書記は、之を留書といふて執筆とは言はぬ。

シユヒツホウ 執筆法 一册。俳人蘭更の所持した芭蕉の執筆法を、寛政十二年枯尾庵といふ者が寫したものである。

シユフウキン 朱封銀 朱染紙封銀は略して朱封銀とも朱銀とも言うた。銀子を朱染紙で封じたものである。寛永十五年加賀藩發行の菊極印朱封銀は、封裝の表面に朱封銀百目と書し、封緘せざる裸銀を單に極印銀といふて、封緘せる朱封銀と區別せられた。朱封銀には灰吹銀なるこまがねを多く包み込んだのであるが、寛文九年四月の令によつて幕府發行の丁銀・大豆板銀と混用することになり、十年十一月九日の令により明年正月から全然朱封銀を停止した。

ジュフクイン 壽福院 加賀藩前田利家の側室。名は千世、又は千代保、後に東丸殿・壽福院と稱した。初め利家夫人の侍女であつたが、次いで側室となつた。文祿元年豊臣秀吉征明の軍を起し、肥前名護屋に行軍を定めるとき、利家往きて之に參詣したが、次いで壽福院も亦その地に召され、歸國の後一男兒を擧げた。後年利常といはれたもの即ち是である。壽福院の實父は越前の人上木新兵衛、母は朝倉義景麾下の山崎右京の女であつて、四女を生んだが、それが壽福院・本保治右衛門室・栗田傳兵衛室・田邊助太夫室である。新兵衛の歿後、母は小幡九兵衛に再嫁し、右京・宮内・堀三郎兵衛室・九里覺右衛門室の四人を産んだ。壽福院亦母に伴はれて九兵衛に養はれたから、世に小幡氏として傳へられる。その法蓋は壽福院華岳日榮大姊である。

シユメノ 朱免野 慶長頃の石川郡石浦郷の内で、今の金澤大工町・新野町の後地にあつた。慶長十一年八月廿三日の書狀に、『觀音堂のむかうなるしめの村は、田島過分の村にて御座候を、此近年河くづれにまかり成、一村たえうせ申候。』とあるから、犀川の洪水によつて全然消滅したのである。然るに明暦二年六月慈光院の書上に、川崩の節才川の下に引移されたとあるが、これは大野庄の示野と混じたもので誤である。

シユメマチ 主馬町 金澤の町名で、今は上下の二町に分かれてゐる。昔藩士本庄主馬の居邸があつた爲の稱といひ、主馬殿町と呼んだに起る。

シユリタニ 修理谷 ↓シリタレザカ 尻垂坂。

シユレン 珠聯 ↓ホウザンシユレン 芳山珠聯。

ジュンキョウ 尊享 ↓ダイヨウジュンキョウ 大養尊享。

ジュンキョウ 順慶 順慶島の子越前藤島越勝寺如達玄慶の第四子。童名徳壽、公名大藏卿。石川郡大桑に善福寺を創立し、後に妙善坊と號した。明應五年六月十四日寂、四十九歳。

ジュンキョウ 順教寺 金澤裏安江町に在つて、眞宗東派に屬する。初め鍛冶町に在つて、明治十二年六月寺號の公稱を許され、大正三年今の地に移つた。

ジュンキョウ 順慶寺 鳳至郡輪島に在つて、眞宗東派に屬する。

ジュンケイイン 春桂院 加賀藩前田利家の女幸姫の法號。詳しくは春桂院月照利障大姊。

ジュンケンシミチ 巡見使道 幕府が巡見使を派遣した際、定例として通行する路線をいふ。加賀に在つては江沼郡橋・大聖寺・敷地・作見・弓波・八日市・動橋・高塚・矢田新・月津・能美郡串・串茶屋・今江・須天・向本折・三日市・小松・沖・打越・輕海・原・上妻口・嵐・中峠・三坂・二曲・別宮・釜清水・下吉谷・石川郡吉野・下吉野・吉岡・江津・福岡・口直海・中島・白山・鶴來・月橋・小柳坂尻・會谷・四十萬・額谷・高尾・窪・山科・伏見新・金澤・河北郡神谷内・柳橋・法光寺・百坂・彌勒繩手・森下・今町・二日市・